

実技指導者ライセンス検定試験実施マニュアル

	カントリーウェスタンダンス		
	インストラクター	シニアインストラクター	インストラクターコーチ
筆記試験			
1 実施の目的	指導者としての知識を確認するため実施する		
2 実施の方法	1名以上の補助員により、試験用紙の配布、試験の説明、試験の監督を行う		
3 出題の方法	問題・解答用紙はA3サイズとし、読みやすい字体と大きさの文字とする。 出題形式は記述式、選択式とする。		
4 出題範囲及び内容	別表-2-10 の判定方法の 筆記試験の欄から出題する	別表-2-9 の判定方法の 筆記試験の欄から出題する	別表-2-8 の判定方法の 筆記試験の欄から出題する
5 設問数	共通問題2問、層別問題3問とする（合計 5問）		
6 配点	100点満点(20点×5)		
7 所要時間	30分	45分	60分
	受験者は開始20分を過ぎれば、解答用紙を提出して退室できる。		
8 合否判定の基準	60点以上を合格とする	70点以上を合格とする	80点以上を合格とする
面接試験			
1 実施の目的	指導者としての適性を確認するため実施する。		
2 面接の方法	実技試験と併せて実施できる。		
	検定員による面接 4人まで同時に実施できる	検定員による個人面接	
3 質問内容	<ul style="list-style-type: none"> *氏名と所属クラブ *経験年数 *指導経験年数 *所属クラブでの役職 *S協及びS協関連組織の 行事への参加経験 		<ul style="list-style-type: none"> *氏名と所属クラブ *経験年数 *指導経験年数 *所属クラブでの役職 *S協及びS協関連組織の 行事への参加経験 *指導者育成について の抱負
4 所要時間	1人 5分以内	5分以内	
5 合否判定の方法	検定員の合議により合否を判定する。		
6 合否判定の基準	<ul style="list-style-type: none"> *指導者にふさわしい服装・態度・言葉使いか *所属クラブやS協への協力が期待できるか 		

実技指導者ライセンス検定試験実施マニュアル

	カントリーウェスタンダンス		
	インストラクター	シニアインストラクター	インストラクターコーチ
実技試験			
1 実施の目的	指導者としての技術的な適性を確認するため実施する。		
2 準備	課題曲(ビギナーレベルのラインダンス3曲)のステップシートを試験日の1週間以上前に配布する (課題曲の音源を配布した場合は検定会終了後に回収又は消去する)		
	音響機材一式 (アンプ・スピーカー・接続ケーブル) 課題曲の音源/音楽再生装置 (受験者が持参できる)		
			受験者はビギナーレベルの振り付けした曲(1曲)を準備する
	演技者 若干名		
3 試験の手順	一人の受験者を試験会場に入れて待機させる		
1) ダンスの技術	*事前配付した課題曲から受験者が選択した1曲を踊らせる (2分以内とする)		
2) 指導の技術	音楽再生装置を音響機材に正しくセットさせる		
	*課題曲の中から指定した一つのパートを説明させる	*課題曲を演技者を使って指導させる	*自身が振り付けした曲を演技者を使って指導し、踊らせる (作成したステップシートを検定官に配布させる)
4 試験の範囲	別表-2-10 の判定方法の実技試験の欄から出題する	別表-2-9 の判定方法の実技試験の欄から出題する	別表-2-8 の判定方法の実技試験の欄から出題する
5 所要時間	10分以内	15分以内	
6 配点	ダンスの技術 60点 指導の技術 40点	ダンスの技術 40点 指導の技術 60点	ダンスの技術 30点 創作曲の評価 30点 指導の技術 40点
7 合否判定の基準	ダンスの技術 35点以上 指導の技術 25点以上	ダンスの技術 30点以上 指導の技術 40点以上	ダンスの技術 25点以上 創作曲の評価 25点以上 指導の技術 30点以上
	合計 60点以上	合計 70点以上	合計 80点以上
上記判定基準の全てを満たした者を合格とする 検定員の平均点とし、小数点以下は切り上げとする			
8 検定員の資格と員数	シニアインストラクター以上 3名	インストラクターコーチ1名以上を含む シニアインストラクター以上 3名	